

令和 7 年度

今 治 市 桜 井 財 産 区
決 算 審 査 意 見 書

今 治 市 監 査 委 員

監 第 169 号

令和 8 年 9 月 1 日

今治市桜井財産区

今治市長 徳 永 繁 樹 様

今治市監査委員 木 原 盛 展

同 近 藤 博

令和 7 年度 今治市桜井財産区決算審査意見書の提出について

地方自治法第233条第2項の規定により、審査に付された令和7年度
今治市桜井財産区歳入歳出決算とその証書類を審査した結果、次のとおりその意見書を提出する。

令和 7 年度 今治市桜井財産区決算審査意見書

1 審査の対象

令和 7 年度今治市桜井財産区歳入歳出決算

歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書

2 審査の期間

令和 8 年 8 月 5 日から 9 月 1 日まで

3 審査の着眼点及び実施内容

決算その他関係書類が法令に適合し、計数が正確であるかどうか、予算の執行状況が適正かどうかについて、関係諸帳簿、証書類と照合し、審査を実施した。

4 審査の結果

今治市監査基準に準拠し、審査を実施した結果、審査の対象となった決算、同事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書は、関係法令に適合して作成されており、計数は正確であり、予算執行についても適正であった。

5 審査の概要

(1) 決算規模

予算現額 1,349 万 7 千円に対し、歳入決算額は 1,351 万 9 千円（執行率 100.2%、収納率 100%）、歳出決算額は 62 万 7 千円（執行率 4.6%）である。

歳入歳出差引残額 1,289 万 3 千円は、翌年度へ繰越している。

予 算 決 算 対 照 表

（単位 千円、％）

区 分	予算現額 (A)	調 定 額 (B)	決 算 額 (C)	予算現額 に対する 増減額又は 不用額	執行率 (C/A)	収納率 (C/B)	令和 6 年度 決算額	対前年度増減	
								決 算 額	率
歳 入	13,497	13,519	13,519	22	100.2	100	14,727	△ 1,207	△ 8.2
歳 出	13,497		627	12,870	4.6		1,414	△ 787	△ 55.7
差 引	—		12,893				13,313	△ 420	△ 3.2

ア 歳 入

歳 入 決 算 状 況

(単位 千円、%)

区 分 款	予算現額 (A)	調 定 額 (B)	収入済額 (C)	執行率 (C/A)	収納率 (C/B)	収入済額 構成比率	令和6年度 収入済額	対前年度増減	
								収入済額	率
使用料及び手数料	9	9	9	100.5	100	0.1	10	△ 1	△ 5.8
財 産 収 入	166	166	166	100.1	100	1.2	166	—	—
繰 越 金	13,313	13,313	13,313	100.1	100	98.5	14,541	△ 1,228	△ 8.4
諸 収 入	9	31	31	347.2	100	0.2	10	21	217.5
計	13,497	13,519	13,519	100.2	100	100	14,727	△ 1,207	△ 8.2

収入済額は、前年度と比較すると8.2%、120万7千円減少している。

これは主に、繰越金が122万8千円減少したためである。

収入済額の主なものは、繰越金1,331万3千円（収入済額に占める割合98.5%）、財産収入16万6千円（同1.2%）である。

イ 歳 出

歳 出 決 算 状 況

(単位 千円、%)

区 分 款	予算現額 (A)	支出済額 (B)	不 用 額	執行率 (B/A)	支出済額 構成比率	令和6年度 支出済額	対前年度増減	
							支出済額	率
議 会 費	275	166	109	60.4	26.5	183	△ 17	△ 9.3
総 務 費	8,296	461	7,835	5.6	73.5	1,231	△ 770	△ 62.6
予 備 費	4,926	—	4,926	—	—	—	—	—
計	13,497	627	12,870	4.6	100	1,414	△ 787	△ 55.7

支出済額は、前年度と比較すると55.7%、78万7千円減少している。

これは主に委託料が73万9千円減少したためである。

支出済額の内訳は、総務費46万1千円（支出済額に占める割合73.5%）、議会費16万6千円（同26.5%）である。

節別における主なものは、議員報酬の報酬23万7千円、墓地管理委託料22万円である。

(2) 財産に関する調書

ア 公有財産

土地は道路面積の錯誤の訂正により233.47㎡減少し、当年度末現在高は432,768.24㎡、建物は1,089.84㎡で当年度中の増減はない。立木の推定蓄積量は45.17㎡で、当年度中の増減はない。

(注) 1 金額は、原則として千円単位で表示し、単位未満は、四捨五入の上表示した。そのため差額又は合計額が一致しない場合がある。
2 比率(%)は、小数点以下第2位を四捨五入の上、表示した。そのため構成比については、合計が一致しない場合がある。